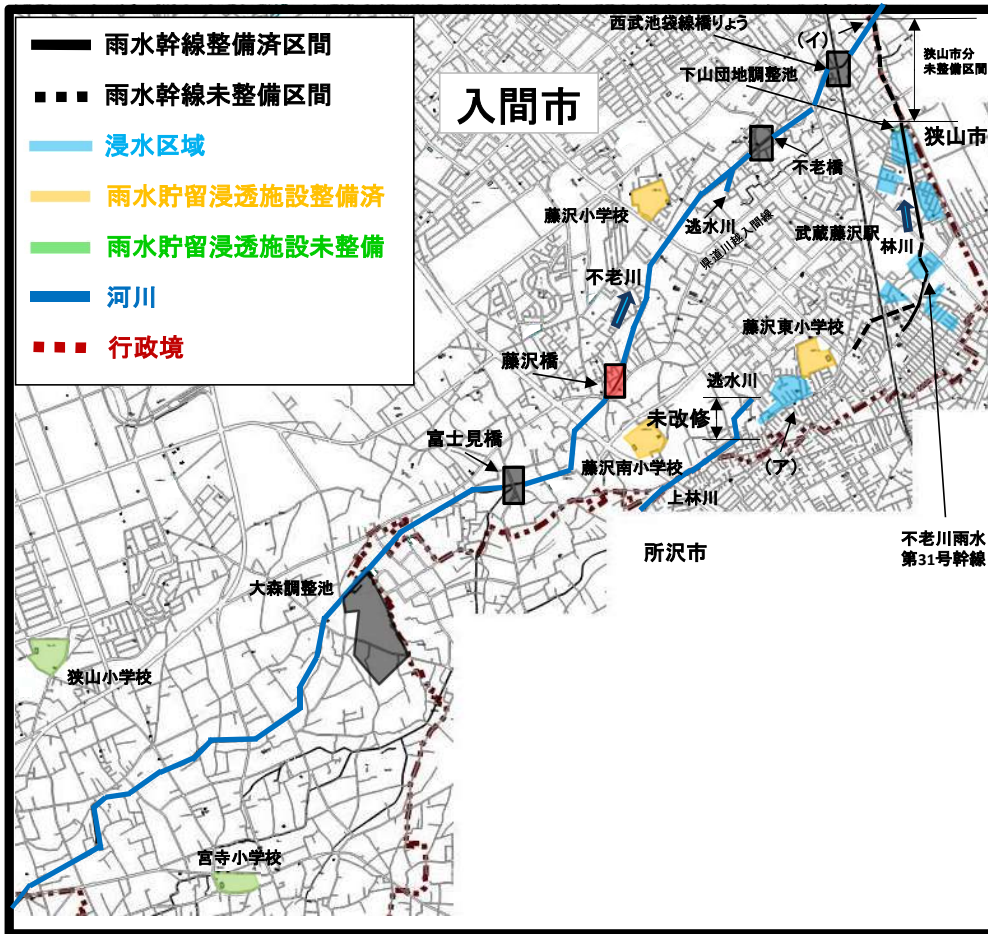


河川と下水道が連携して対策を行う取組（入間市）

位置図



（ア）浸水被害の状況



平成28年8月22日 台風9号

（イ）不老川の状況



平成28年8月22日 台風9号



平成29年10月23日

連携施策

入間市東藤沢一・二丁目地内（下山団地）、三～八丁目地内

(黒):完了した施策 (赤):事業中、またはすぐに事業着手可能な施策 (緑):検討のうえ事業化を目指す施策

○現状・課題

- ・河川(不老川)改修未整備
- ・不老川の改修が進んでいないため、水位が上がり吐口での放流がしづらい状態である。
- ・県道川越・入間線(狭山市側)から吐口までは暗渠となり断面が小さくなっているため、流下能力が落ち、豪雨時には開渠部分で越水が起きる。
- ・調整池があるが、豪雨時では対応が出来ず越水が起きる。

● 施策

- ・不老川の改修
 - 西武池袋線(埼玉県)
 - 藤沢橋の架け換え(埼玉県)
 - 不老橋、富士見橋の架け換え(埼玉県、入間市)
 - 大森調節池の整備(埼玉県、入間市)
- ・不老川流域の住宅などに対する雨水浸透柵設置(埼玉県)
- ・逃水川の改修(入間市)
- ・学校のグラウンド等を利用した雨水貯留浸透施設の整備について関係課と協議し、不老川への流出抑制対策を実施(入間市)
- ・不老川流域の住宅等に対する雨水浸透柵設置の普及促進(入間市)

連携することの効果

単に河川改修するより、県と市が連携することでより効果を高める